

インターバンクの声（2014年9月4日）

ウクライナのポロシェンコ大統領とロシアのプーチン大統領は電話協議の末、停戦の進め方について合意し、危機の打開へ一歩前進した。ただ、実際に停戦が実現するかどうかは予断を許さない。明日、両国政府と欧州安保協力機構（OSCE）、親口派武装勢力の代表による会合が開催予定であり、停戦へ実質的な進展があるかどうかはこの会合次第であろう。

このような状況下、本日 ECB 理事会が開催される。先週時点では、追加緩和が行われたいとの見方が強かったが、今週に入り、追加緩和が実施されたいとの見方が強まっており、その具体的な手段としては、「利下げ」の可能性がうわさされている。

昨日は、ウクライナで「恒久的停戦で合意」とのヘッドラインが流れると、ユーロ/ドルは上昇する場面も見られたが、ロシア側がそのヘッドラインを否定すると、上昇分を失う展開が見られた。

本日はウクライナ情勢、ECB 理事会次第でユーロは上下双方に大きく振れる可能性があるだろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。